



ICPE2014 国際会議報告

金沢大学 岡田将人

ICPE2014 (The 15th International Conference on Precision Engineering) が2014年7月23~25日の日程で石川県金沢市のホテル日航金沢、石川県立音楽堂を会場に開催された。本会議はこれまで隔年で国内を中心に開催されており、一昨年の兵庫県淡路市での開催に続いて今回で15回目を迎えた。2011年に金沢大学にて開催された精密工学会秋季大会では台風に見舞われ、今回も一足早い台風を心配する声もあったが、幸いにも全日程において恵まれた天候となった。

本会議には11カ国より339名の参加登録があり、海外からは主にドイツ、中国、台湾、スイスなどからの参加がみられた。発表は計238件でトピックごとにまとめてみると(表1)、High precision machiningやNon-conventional machining分野の発表が多いことがわかる。以後、開催前日からの主なイベントについて記録する。

開催前日の22日にはPre-conference tourが催され、石川県白山市を拠点とする中村留精密工業株式会社や金沢市の金沢蓄音器館を見学し、先端技術と伝統技術に多くの参加者が関心を寄せた。終了後には、旧石川県庁舎を一部用いた「しいのき迎賓館」にてWelcome receptionが催され、多くの参加者がみられた。

23, 24日の午前には国内外から計4件の基調講演が、歌舞伎や文学等の公演に使用される石川県立音楽堂邦楽ホールにて、一味違った雰囲気の中で開催された。本講演は一般公開されており、両日で115名の一般参加者も聴講した。23, 24日の午後ならびに25日はOral sessionにて講演発表があり、活発な意見交換がなされた。

表1 発表論文数(含むポスター発表)

Field of research	Number of paper
High precision machining	40
Non-conventional machining	32
CAD/CAM technology	19
Machining control	8
Machine tools	19
MEMS/NEMS	12
Precision devices	2
Mechatronics	26
Tribological systems	9
Measurement engineering	18
Design engineering	3
Service engineering	4
Medical devices	5
Green manufacturing	7
Advanced moulding and forming	12
Other related technologies	16
Technical session	5
Research of high school students	1

24日の夕方にはPoster sessionが生まれ、計92件のポスターが発表された。本セッションにはSuper Science High Schools (SSH) 指定校である石川県立泉丘高等学校の生徒たちからも1件のポスターが発表された。聴講者に対し必死に英語で説明し、成果を伝えようとする高校生の姿に頼もしさを覚えた(図1)。Poster session後にはBanquetが開催され、その中で、13件のBest paper賞が発表された。その後、基調講演者であるAlexander H. Slocum教授のユーモア溢れる乾杯の音頭を皮切りに、にぎやかな雰囲気の中で開宴した。宴中には金沢芸妓による踊りに始まり、お座敷太鼓の体験コーナーが設けられた。海外からの参加者がお座敷太鼓に挑戦する姿に、大きな拍手が寄せられていた(図2)。

会期終了翌日の26日にはPost bus tourが催され、七尾市を拠点とする“カニカマ”で有名な株式会社スギヨの工場見学、七尾フィッシャーメンズ・ワーフでの昼食、そして国内有数の温泉旅館である和倉温泉「加賀屋」の配膳システムを見学し、石川県が世界に誇る“食とおもてなし”の舞台裏を垣間みることができた。

ICPE2014が盛況のうちに幕を閉じた。本稿を執筆している時点で次回開催場所は未定とのことであるが、今から次回が楽しみになる国際会議であった。

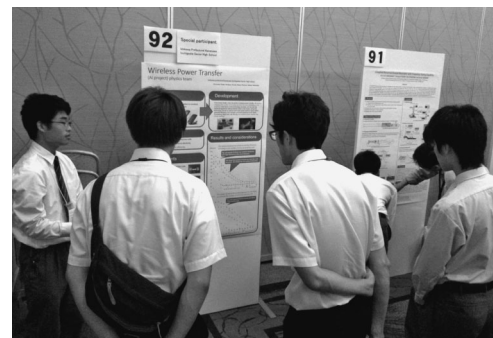


図1 高校生によるポスター発表



図2 三味線の音色が響く Banquet 会場